家庭学習のすすめ

～家庭学習の習慣を身に付けさせ、学力を向上させよう！～

柏市立逆井小学校

平素より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、家庭は家族の憩いの場でありますが、同時に子どもの教育の場でもあることは言うまでもありません。基礎的な生活習慣を子どもが身につけるまでしつけることは、親の務めとも言われています。家庭での学習習慣についても同様のことが言えると考えられます。学校では学習指導に全力で取り組んでおりますが､家庭での学習習慣の確立無しには、学力の向上は望めません。

ところで、昔から「読み、書き、そろばん」と言われますが、小学校での国語と算数の学習内容が、すべての学習の基礎・基本となります。その点で特に大切にしなければなりません。学校教育におきましても、基礎・基本の学習に力点を置いた指導を行っておりますが、定着には繰り返し学習することが必要であります。

そこで、家庭学習を位置づけることで、さらなる基礎・基本の定着を図り、学力向上を目指したいと考えています。１日の生活の中に、家庭学習の時間を確保するというのも、大切な、基本的な生活習慣の一つです。そのため、家庭学習の仕方をここに例示させていただきます。また、担任からのアドバイス等も行ってまいります。どうか、保護者の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

【家庭学習の方法】

（１）家庭学習の習慣

①毎日必ず時間を決めて学習する。　⇒家庭学習の習慣化

②「ながら学習」（テレビなど）をしない。　⇒集中力の向上

③机の上をきれいにして姿勢をよくして行う。　⇒学習の効率化

④学習が終わったら、次の日の準備をする。　⇒忘れ物の防止

（２）発達段階による家庭学習

１・２年…学校の宿題ができる。宿題以外にも少しずつ自主学習ができる。

３・４年…学校の宿題以外にも自主学習ができる。

５・６年…学校の宿題以外にも、自分にとって必要性のある自主学習ができる。

（３）時間のめやす　少なくとも、学年×１０分

（例：６年　６×１０分＝６０分）